



特定非営利活動法人

ひやくしょういっき

百生一輝

当センターを会議やイベント・居場所づくりなど、いろんな用途で活用されている百生一輝さん。その個性的な団体名の由来から幅広い事業、今後の目標までを伺いました。

「百生一輝」の名前の由来

“生きづらさを抱えている人が輝ける社会“の実現を掲げて、「百人いれば、生き方・輝き方は一人ひとり異なる、その一人ひとりの力になりたい」といった意味を込めています。

そして、何を語っても、何も語らなくても、また語れなくても、それぞれがその人にとっての「今、ここ」ということを認め合う社会を目指しています。

主な事業を3つご紹介

① 働きづらさを感じている方の就労支援 / 就労継続支援 B 型作業所ふぉーふーむ

- ・ケーキ：地域で30年間愛されてきたケーキ工房「菓楽」^{からく}の運営を引き継ぎ、お菓子作りや販売等を行っています。
- ・農業：農業の担い手不足と、福祉の雇用などの課題を解決できる「農福連携」に向けて、様々な取り組みを行っています。（令和3年度ひょうご農福連携コンテスト グランプリ受賞）



② ひきこもり支援 / ひきこもり家族会

制度のはざまにおちいってしまうことが多い「ひきこもり状態」にある方。そのご家族とつながることで、できることもあるのではないかと考え、対話重視の集まりを行っています。

③ 就労準備支援事業（川西市委託事業）

経済的に困っている方や地域で孤立している方に向けての就労体験を実施。企業など20以上の団体に協力していただき、始めからフルタイムではなく1日2時間程度から始められる体制をとっています。

認定 NPO 法人を目指して

わたしたちは今あるものの活かし方を再定義することで、就労支援や社会参加のキッカケづくりを行ってきました。支援についても、制度のはざままで“できない”ではなく、どうすれば支援の手が届くのか、地域での孤立が解消されていくのかを模索し続ける法人でありたいと考えています。

今後は応援していただく会員を増やしていき、認定 NPO 法人の取得を目指します。認定 NPO 法人となり、さらなる応援を受けられる体制にし、より多くの支援や活動に繋げていきたいです。（記事：吉尾）

🏠 **生きづらさを抱えた人が輝ける社会へ**
～ お気軽にお問い合わせください ～

《連絡先》 support@hyakusho-ikki.org

HP は
こちら
→

